

ベンチャー訪問

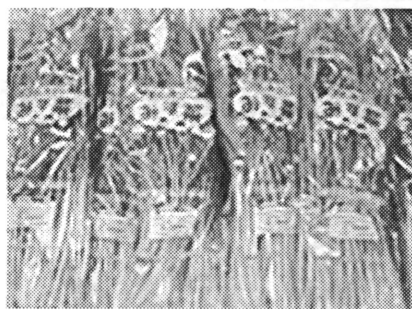
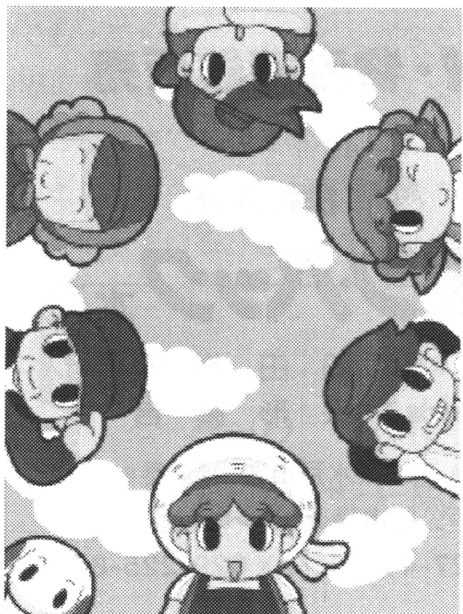
うそ・偽りのない農業者

(有)ピュアグリーンアグリ・茨城県銚田市



有限会社ピュアグリーンアグリは農業生産法人。木村社長を中心として生産者による出荷グループを結成、この出荷グループが「PGA.Bグループ」である。「うそ・偽りのない農業者」をキャッチフレーズに、出来るだけ農薬の使用を減らし、生産日誌の記帳を徹底し、QRコード・ホームページ上で生産履歴がいつでも確認できるようにしている。グループに入る生産者は特に審査はないが、グループの規格を守って他のグループ員と同じレベルで生産が出来ることが基準となっている。あえて無農薬ではなく出来る限り減農薬にするということは、自然界では、もともとさまざまな種類の植物、動物(生物相)が適度なバランスをもって生息しているが農耕により単一の植物(作物)を栽培することによってこの生物相のバランスが崩れ、その作物を加害する虫や病気、作物以外の植物(雑草)が異常発生しやすくなることは避けられず、この病虫害や雑草を防除しなければ、安定した収穫は望めないのである。今日の豊かな食生活は農薬を始めとするさまざまな農業技術によって初めて成り立っていることは認めなければならない。農薬や化学肥料などを使わない、いわゆる有機農業は、慣行の栽培に比べ病虫害・雑草の発生が少ないという実証はなく、病虫害・雑草の発生があるかぎり、いずれの栽

培方法でも何らかの手段で防除しなければ、一定量以上の品質の良い収穫物を得ることはできない。そのため「PGA.Bグループ」では、ほうれん草・こねぎ・パセリ・大葉・小松菜・トマト・みず菜・いちごを契約栽培しているが、生産品に、農薬減少と使用情報を公表して、安全・安心を消費者に届ける工夫を行っており、「トレーサビリティ」を実行している。減農薬栽培とは漢方天然植物「緑源」と化学減農薬の併用からスタートしており、「緑源」と化学減農薬との相性も良く、通常の農薬使用量の1/2~1/10位で、今まで、むずかしいとされていた卵幼虫の駆除と成虫駆除が同時に出来、その効果は二重に上がり、健康生産品の増収獲が得ることが出来た。農林水産省において、有機農産物と特別栽培農産物に係る表示ガイドラインが定めてあり、「PGA.B」の農産物はそれに認められている。木村社長は元々メロン農家の後継者であったが、両親のことなどを考え現在の個人農家の経営に疑問を感じ、自ら研究・視察を行って雇用型農業として当社を平成12年12月に設立、経営も順調で平成17年11月期は売上高7億3155万円を計上し、現在は関連業種や自治体から大いに注目を集めている。



会社名	(有)ピュアグリーンアグリ
住所	茨城県銚田市舟木47-21
代表者	木村貴浩社長
電話	0291 (36) 5855
FAX	0291 (36) 5811
URL	http://www.precolo.com/pure/